

(様式2)

応募物件の概要

1	所在地	丸亀市〇〇町××			
2	物件概要 (再生前)	敷地面積	290.00 m ²		
		延べ面積	1階 100.00 m ²	2階 50.00 m ²	
		階数	地上2階	構造	木造
3	物件概要 (再生後)	敷地面積	290.00 m ²		
		延べ面積	1階 100.00 m ²	2階 50.00 m ²	
		階数	地上2階	構造	木造
4	再生後の用途	一戸建ての住宅			
5	工期	平成28年9月～平成29年2月			
6	改修工事等の概要	・間仕切の変更(2室(台所、茶の間)を1室(LDK)へ) ・2階和室を洋室(子供部屋)とし、ロフト設置 ・トイレ改修(和式(小+大)→洋式へ) ・屋根改修(瓦葺き→金属葺きへ)			
7	工事費用(税込)	6,800,000円			
8	立入制限箇所	有・無 ※有の場合は具体的箇所を記入してください。 (寝室・2階子供部屋)			
9	物件の概要	応募物件について、下記項目ごとに全て記入してください。 【審査の際に重要になりますので、できるだけ詳しく記入してください。】			
①工夫した点(当てはまるもの全てに☑を入れてください。)					
☐地域活性化への貢献 ☐立地条件の克服 ☑利用者のニーズ ☐コストの縮減 ☑存住宅の有効利用 ☑その他					
※チェックした工夫の内容について具体的に記入してください。 ・ライフスタイルの変化に合わせ、既存の台所と茶の間を大空間のLDKとし、対面式のシステムキッチンを設置した。 ・子供部屋(改修時6歳、3歳)を設けるため、2階和室8畳と押入れを洋室2室とし、成長に合わせ、使い方を変化できるよう、2空間の間仕切(収納)を可動式とした。 ・2階改修部の天井を撤去し、古民家の良さを活かすため、既存の構造部材(収納)を現わしとし、小屋裏であった上部空間を有効利用し、ロフトを設置した。 ・屋根を瓦葺きから金属葺きに改修し、雨漏りを改善すると同時に、荷重を抑え、耐震性能を向上させた。					

②苦勞した点（当てはまるもの全てに☑を入れてください。）

予算 立地条件 老朽化 関係法令 その他

※チェックした苦勞の内容について具体的に記入してください。

- ・施主の予算（700万円以内）の範囲内で、施主の要望を実現できるよう、できる限り、既存部材を利用するよう努めた。
- ・屋根の老朽化により、一部で雨漏りをしていたため、屋根改修を行う必要があったが、工事期間中に天候の影響を受ける中、施主の引越し希望の時期までに工事を完了させるため、十分養生を行い、短期間で工事を完了させた。

③空き家活用までの経緯

（空き家になった理由、空き家状態の期間、入手経緯、活用に至った理由 等）

- ・転職で東京から香川に戻ることになり、かつて祖父母が居住していた空き家を改修して移住することにした。
- ・祖母が亡くなった5年前から空き家となっていた。
- ・所有権は祖母のままとなっていたため、相続人で協議した上で、申請者本人の名義に変更する手続きを行った。
- ・4人家族（本人・妻・子供2人）が生活するために十分な広さがあり、また、申請者本人も幼少時から過ごした実家での生活を希望したため、現在の家族構成やライフスタイルに応じた、間取りの変更を含む改修工事等を行った。

④再生前の空き家の状態

- ・空き家の状態であった5年間は、年に1回程度は様子を見に行っていたが、県外在住のため、頻繁には確認に行けなかった。
- ・特に夏場は、外壁を蔭が多い、庭には雑木が繁茂していた。
- ・基礎部分に問題はなかったが、過去の台風時に屋根瓦の一部がはがれ、屋内に雨漏れも生じていたため、修繕が必要な箇所が見受けられた。

⑤その他のアピールポイント

- ・ペットで猫を飼っているため、既存部材を利用して、キャットウォークを設置した。
- ・既存の台所で利用していたタイルを玄関、廊下の壁等にアクセントとして配置した。
（既存部材の有効利用）

注 記載内容について、応募者にヒアリングを行う場合がありますので、御了承ください。